

昨今、よく耳にする「(SDGs) 持続可能な開発目標」に象徴されるように、世界的に環境への問題意識が高まっています。それは、世界中で環境破壊を根本原因とした天災が相次いでいるからでしょう。

地域を問わず問題となっている地球温暖化はその一例といえます。温暖化は気温が上昇するだけでなく、様々な気候変動を起こします。実際に、気候変動による被害が世界各地で報告されており、その被害は深刻です。

例えば気温の上昇の影響として、北極などの海氷の融解により海面が上昇しています。また、気温の上昇は降水量を減少させてしまい、水資源が確保できないだけでなく、感染症媒介生物の生息域の変化や感染拡大、大規模な生物種の喪失、高水温などによるサンゴの白化現象など、生物にも影響を与えます。

そうした気候変動の被害は日本でも見られます。近年の大型台風の通過や豪雨被害などは、猛暑日や暖冬など温度の上昇とそれに伴う気候変動の影響であり、自然災害による被害が増えているのです。

こうした問題を解決できるのは、様々な生物の種の中でも人類だけと言えるでしょう。「地球温暖化は人為的なものではない」という意見もありますが、森林伐採や海洋プラスチック汚染などが、人類の経済活動によって引き起こされたことは明白です。

さらに、原因はどうあれ、問題となっていることを放置すれば危機的状況に陥ることは明確です。

先述の通り、環境が破壊されれば、経済



我が家<地球>を綺麗にして 次世代へつなごう

活動を含めた、生活そのものが危ぶまれてしまいます。ゆえに、人類の活動は、私たちの住まいである、この地球をますます美しく、健全にするというビジョンを据えて前進する必要があります。

では、具体的には何をすればよいのでしょうか。ここでは私たちが実行できる二点をご紹介します。

① 皆でみどりを増やそう

丘陵地や河岸段丘、社寺、農地などの自然環境地を守る、公園・緑地をつくるだけではなく、民有地でも緑を増やしていきましょう。一般家庭の庭づくり、企業の屋上緑化、壁面緑化などで緑を増やしましょう。

② ゴミを減らそう

ゴミになる前の製品は、もともと天然の資源を使って作られています。紙やプラスチック、金属などを大切に使わなければ、将来、資源が足りなくなります。また、製品の製造には多くのエネルギーが使われ、ゴミを燃やしたときに発生する二酸化炭素は地球温暖化の原因にもなります。

環境問題は地球規模での課題ですが、問題の根本は、私たちの生活の集積によるものです。したがって、些細なことでも一人ひとりが意識して生活を変えていけば、大きな成果と前進を生むことになるでしょう。